

令和5年度 津島福居自主防災会事業報告

1 全般

令和5年度は、「自らのいのちは自らで守る」という防災理念のもと、①防災意識の高揚、②要支援者への円滑な情報伝達、③災害時活動要領の検討等を重点目標に掲げ、活動を推進した。

2 事業計画に基づく成果

(1) 第15回ふれあい防災まつりの開催

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、行動制限が撤廃されたことから、4年ぶりの防災まつりを10月9日(月・祝 10:00-12:30)に開催した。当日は、岡山市(非常食250食提供)、岡山市西消防署(防災用具の貸し出し、起震車及び7名の署員の派遣)及び岡山大学ダンス部(5名による防災ダンスの実施)の協力を得て、10のプログラムを企画して実施した。

(2) 地震発生を想定した情報伝達訓練の実施

7月2日(日)10時より、地震の発生を想定し、要支援者の安否確認を避難支援者に要請し、その確認結果を報告してもらう内容の情報伝達訓練を実施した。今回は、これまでの電話、メールによる情報伝達に加えて、岡山市が提供する「一斉メールシステム」及び公式LINEアプリを活用した。当日は、41人の要支援者が訓練に参加した。

又同時に、要支援者が考えている避難先、食料等の備蓄の状況についてもアンケート調査を実施した。

(3) タイムラインを想定した災害時活動要領の作成

昨年度から検討を続けてきた防災会の災害時活動要領(大雨・豪雨災害編)の作成が完了した。今後、大雨・豪雨災害の発生時に防災会の活動指針となるもので、すべての防災委員に配布した。

11月からは、地震災害編の検討を開始し、令和6年度の完了を目指している。

(4) 個別避難計画の更新

要支援者の移動等に伴い、個別避難計画の一部更新を行なった。

(5) 防災会議の開催

防災会では、令和5年度、以下のとおり計7回（5/20、6/17、8/20、9/16、11/25、1/13、3/16）の防災会議を開催し、災害時活動要領、情報伝達訓練、ふれあい防災まつり等について検討した。

3 火災警報器・消火器等の設置状況調査の実施

各家庭における防火対策状況の把握及び防火対策の促進を図るため、標記調査を実施した。調査結果は、町内回覧し周知を図った。

4 他組織との連携・協力

① 学習会「身近な浸水被害（内水）に備える」参加

いきいきサロン福寿会7月例会（7月18日）で実施された標記学習会に参加し、岡山市の浸水被害対策等について学習した。

② 岡山大学地域防災講演会参加

岡山大学と津島地区連合町内会の交流事業として10月26日に実施された標記講演会に防災委員が参加した。

以上